

# 平成20年12月定例議会報告

平成20年12月定例議会が、11月28日～12月16日まで開催されました。下記の内容で一般質問を行い、真摯な御答弁をいただきました。質問の要旨を掲載いたしました。詳しくは、市議会のいちかわインターネット放送局で録画放送をご覧ください。

市川市議会 録画放送 12月8日へとお進み下さい。直接は <http://ibs.city.ichikawa.chiba.jp/ibsw eb/topPage.do?id=673>

## 一般質問の主な内容は、

### 市川市保育園入園事務について

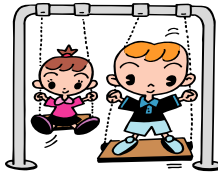
- (1) 保育実施基準表の公開について
- (2) 今後の考え方について

現在保育園に入園を希望しても保護者の希望通りに入れるとは限りません。毎年新しい保育園が開園して待機児童の数が減っても、新たな希望が発生することにより解消にはいたりません。そのような状況の中、どの保護者の方も早く希望の保育園に入園したいと思うわけですが、問題になるのは待機の順番です。各家庭の就労の状況や家庭内の状況を1つの基準を作って公平性をもつことにより、誰もがわかりやすく基準をつくっています。

この基準表を公開することにより、自分の状況も点数により把握し、他の方たちとの順番をわかりやすくする必要をお聞きしました。今年の4月からこの基準で行われているようですが公開は個人の希望により公開をしていました。今後の公開の方法と、インターネットなどによる待機状況を公開することによって、今の位置と今後の判断がしやすくなるのではないかと質問しました。

ご答弁は、公平性を考えて基準表をつくって運用をしている、今後は公開の方法や入園を希望する保護者がわかりやすくうけとめれるように考えて行きたいとのことでした。

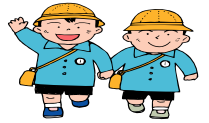
社会情勢も変わり就労の必要性も時代とともに変わってきました。保育園に入園を希望する方たちに少しでも力になれるような方法や施策を考えて応援できるように頑張ってください。



### 市川市私立幼稚園補助金について

- (1) 振興費補助金の教材費の必要性について
- (2) 預かり保育促進、拡充への助成について
- (3) 公立で実施している家庭教育学級と同様の施策を私立で行うための補助金について

市川市では私立幼稚園に対していろいろな形で補助金を保護者の方や幼稚園に対して行っています。その補助金の中で今回は数点しぼって質問をさせていただきました。まず、教材費の補助金ですが、園ごとに集めている金額や内容は様々ですが、今年からやっと三歳児まで出しているようになりましたが、その金額は月に子ども一人に133円強です。現在いるようなものが高騰している中で少しでも子どもたちに良い教材を多く与えたいと思っています。また、現在私立幼稚園全ての園で行われておりませんが、預かり保育を実施しています。保護者の用事があるときやリフレッシュなどに活用できるように市が一部人件費を負担しています。この人件費の負担分の増額の要望はもとよりですが、預かる環境の整備にも助成ができないがお聞きしました。単に子どもを延長して保育することではなく、預けられた子どもも通常の保育時間とは違うかたちで預かってもらうことによりストレスを感じないでいられるのではないかと考えています。そして、現在公立の幼稚園でも予算をつけて連携しながら子育ての支援や相談などを行えないか質問しました。ご答弁は、補助金は予算の範囲の中で単価などを考えていきたい。また、家庭教育学級は、公立と情報交換などをスタートに連携して行きたいとのことでした。



### 本八幡A地区市街地再開発について

- ・ 進捗状況について

現在市川市では市川駅南口の再開発も終盤をむかえている中、残る大規模な市街地再開発は本八幡A地区となりました。過去に何回か質問をさせていただいております。今回進捗状況をお聞きしたのは、世界経済も含めて現在の日本の状況を考えた判断、資材などの高騰に直面している中、今後の計画は大丈夫なのか、資金計画なども含めてお聞きしました。

単純に考えても、最初の計画と比べて状況は変わってきていると思います。市の補助金を使う事業でもあり、また、この地域に避難地としても使える空間の確保や地域の再整備にとっても大事な事業でもあります。京成八幡駅、都営地下鉄本八幡駅、JR本八幡駅の三駅の結節点となる大規模な再開発です。バリアフリーなどの再整備も含めて期待するところは多くあります。

ご答弁は、事業の進捗状況により、補助金などの年度の繰越などを考えていくことも必要となる。また、建築費用の試算状況も現在の資材などの事情も含めて考え、保留床の処分計画なども含めて総合的に組合と話し合って支援していきたいとのことでした。

大きなビルができることによる課題も確かにあると思いますが、それ以上に地域が得るメリットも考えながら、ただのビル建設にならないように、また再開発の良い点を出せるように見守って行きたいと思っています。



### 市庁舎周辺の交通安全対策について

- (1) 市庁舎前の国道14号の信号機増設の考え方について
- (2) 周辺の具体的な安全対策の考え方について

市庁舎の前の国道14号で交通事故がここ一年に二件ありました。二件とも人身事故でした。現在市庁舎の前は信号機つきの横断歩道が一箇所だけです。しかし、皆さんご存知のように、横断歩道のないところを横断する人が多いのが現状です。特に、郵便局の脇の道と市庁舎の脇の道をはさむところは、その先にある踏み切りに向かう方も多いのでかなりの方が横断しています。この場所に信号機をつけてもらえないか質問しました。ご答弁は、事故の後、警察と現地調査を行い必要性も認識している。市長名で要望書も警察に提出しているとのこと、今後積極的に活動していくとのことでした。また、今の歩道橋も利用者が少ないので撤去して、やはり信号機つきの横断歩道をつけられないかお聞きしました。この部分は国道の拡幅などのときに考えてみたいとのことでした。また、神社の前の踏み切り(八幡3号)ですが、せまい踏み切りですが利用する車は一日三千台近くになります。歩行者と車道は分離してありますが、せまいため自転車との交差などは難しい状況です。踏み切りを拡幅することにより、安全に踏切を渡れるようにできないかとの質問には、京成電鉄と交渉して行きたいとのことでした。この踏み切りを渡って国道までの道路は葛飾八幡宮の参道(私道)であります。国道までの部分は双方方向通行となっており、よく一方通行と間違えられトラブルとなります。私道をメイン道路としなければならない市川市の道路事情を理解していただき、皆さんの協力をお願いします。

